

子育て目線で声を届ける

芦屋市議会議員

たかおか知子^{ともこ} 市政報告

住みたいまちの魅力を継続、また戻りたいまち芦屋に

住みたいまち芦屋の魅力を継続することはもちろんのことながら、ここを巣立った子どもたちが、またこのまちに戻りたいと思ってほしいと考えています。思い出のたくさん詰まったふるさとで、自分もまた家庭を持ち暮らしたいと思う、そんな“芦屋愛”がつながっていくことで、芦屋らしさという魅力が続いていくのではないのでしょうか。魅力あふれるまちを作るために、私たち芦屋市議会議員にも行政と共に解決すべき課題が山積みです。子育て世帯を支える優しい施策は現役の働き世代の増加につながります。現役世代が安心して働き、生活できる自治体は税金も伸び、結果としてすべての世帯の豊かな福祉を支えることができるでしょう。本当の支援とは一時的な現金給付でかなえられるものではなく、“芦屋に住んでいる”ことが安心につながる継続性のある制度があるということではないのでしょうか。子育て施策から所得制限を撤廃することもその一つです。他市で実績を上げている施策は、国を待たずして芦屋市に取り入れることもできるはず。行政に発想の転換を促し、市民に寄り添う施策を議会で積極的に提案していきます。

■新たな子育て支援、妊娠中・産後ママをお助け！子育て応援ギフトのお知らせ

赤ちゃんや小さなお子さんを育てていると自分のことは後回しにあっという間に毎日が過ぎていきますね。行政に支援策があっても気づけば申し込みを過ぎていたということもあるかと思えます。妊婦さんや0歳から2歳の低年齢期のお子さんを育てている世帯への支援があります。出産育児用品の購入だけでなく、子育て支援サービスの利用負担軽減も目的としています。令和5年1月23日以降に本市で妊娠届出をされた妊婦さんに、妊娠出産応援ギフトとして5万円の現金給付が、また令和5年1月23日以降に出生し「こんにちは赤ちゃん訪問」を受けた児童の養育者さんには、子育て応援ギフトとして5万円の現金給付があります。対象になっている方はどうぞお見逃しのないようにしていただければ幸いです。



やさしい社会を！困っている人を笑顔に。

市民サービス向上のため、皆様に代わり行政へ主張してまいります。お困りのことがありましたら、たかおか知子に是非ご意見をお聞かせください。市民の皆様のお考えをお聞きし、もっとたくさん勉強してまいります。



【問い合わせ専用】



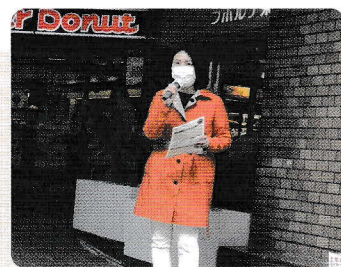
4年間の実績紹介



開発 JR芦屋駅前の再開発促進

JR芦屋駅前の発展を願い、再開発事業に賛成し続け前進させました。反対した議員は予算を認めない主張を2年間も続け代替案を出すこともなく否決を繰り返していました。

結果 ▶ 令和10年9月末の工事完了を目指して、再開発事業が動いています。



保険 保健所統廃合案の廃止

芦屋保健所の統廃合案に反対し、請願の紹介議員として存続を求めました。議会内でいち早く問題提起し、全会一致の合意形成を果たした後に意見書を県へ提出しました。

結果 ▶ 芦屋保健所をなくし分室化の話は、一旦「凍結」となりました。



文化 芦屋の音楽文化の発展

芦屋音楽コンクールを開催に導くお手伝いをしました。芦屋から世界に向けて音楽文化を広めたいという市民の願いを叶えるため、行政の協力が得られるよう働きかけました。

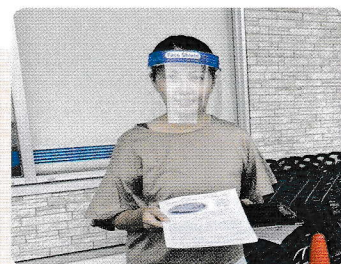
結果 ▶ 芦屋市の後援を受けて、芦屋音楽コンクールの開催が実現しました。



地域 市民のためのまちづくり

まちづくりのためにアンケートを実施し地域の声を吸い上げました。市民意見の重要度を高め、南芦屋浜地区内の商業施設ゾーンにホームセンターを呼び込みました。

結果 ▶ 地区内居住者、県、市との「まちづくり懇話会」が設置されました。



教育 教育現場の環境整備

学校施設の点検を行い早期改修工事を要請しました。潮見小学校の危険箇所の除去や樹木の剪定、宮川小学校のトイレの改修など、施設の環境整備を求めました。

結果 ▶ 職員と共に現地を視察し、指摘した場所はすべて改善されました。



議会 政党内派を超えた議会づくり

政党の垣根をなくして議員間の交流を深めました。地方議会で意思決定を行う際には、議員個々で政策の良し悪しを判断できる知識をつけることが大切であると考えています。

結果 ▶ 会派や政党の枠を飛び越えて、勉強会や行政視察を実施しました。



全議員がようやく認めた「議員の不適切なハラスメント対応」

令和2年6月の一般質問で、市職員によるハラスメント事案を議会で表面化した大塚のぶお元議員ですが、確証のないことを取り上げ、デリケートなパワハラ問題における職員のプライバシーを大きく侵害していたことが判明しました。「不適切な対応であった」と自ら認めて謝罪し、反省の弁を述べられるまでに2年もの月日が経過しました。その後の令和4年3月議会では「議員提出第29号ハラスメント対応に関する決議」を全会一致で可決。市議会として市民のみなさんに間違えて伝わっていた情報を是正する決意を示しました。

その後、元議員は、当時会派の幹事長をしていた私に対して、メールと書面を送ってこられ、一連の騒動のけじめとして「反省の姿勢を市民に示す方法」を伝えてこられました。しかし、反省を伝えなければいけない当の本人が辞職されてしまったため、議会として決議した上は市民へどのように説明責任を果たすべきかをこれまで議論してきました。ところが、この経過を市民へ向けてつまびらかに説明することに後ろ向きな議員が多くいたのです。市議会のけじめのつけ方は以下の決議文に続きます。

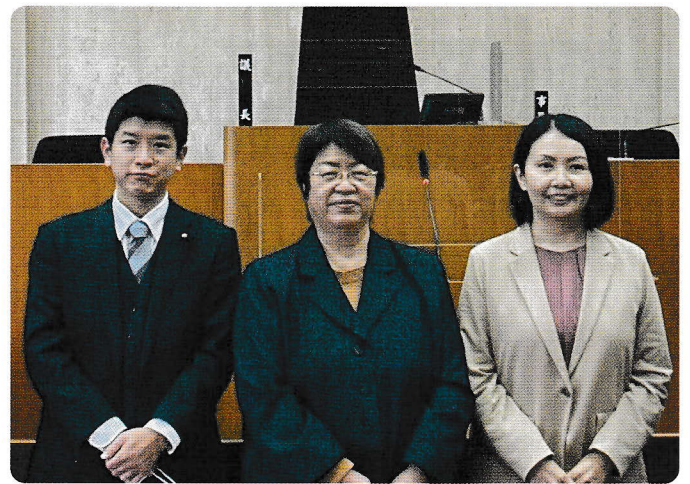
議会で決議した「市民への説明責任」を果たす3名の提出者

令和5年2月議会で、私は「議員提出第32号芦屋市議会のハラスメント対応についての決議」の提出者となり、議員からの質疑に答え、市民の皆さんへの是正報告について合意形成が図られるよう求めました。

提出者に名前を連ねた3名は、**新社会党の山口みさえ議員**、**日本維新の会の大原裕貴議員**、**政党は無所属のたかおか知子**です。会派も政党も違いますがそれは全く重要なことではありません。私たち市議は議会において、それぞれに市民のための自治に向かって「芦屋市のこと」を議論しています。国政の場のような、政治的な駆け引きをやりあっているわけではないはずです。議案ごとに純粋なよし悪しを判断し、実現可能性に向けて互いに協同して知恵を出し合えることは地方議会の大きな強みになるはずです。ですが残念なことにこの決議文は賛成9名・反対10名で否決でした。

さらには提出者に対しなぜか唐突に、「職員の合意を得たのか？」という質問をした議員がおりました。この決議はこれまで議会で行ってきた経緯を改めて説明したものであり、詳細は会議録などにも残っている事実です。質問されたご本人も当然ご存じの事実でもあり、改めて当の職員が議会に晒される必要はなく、問題視されている「プライバシーの保護」の観点を全く気につけない言いようは残念でなりません。

市民に事実が伝わらないことへの是非ではなく、政治的な駆け引きによって否決に追い込まれたのではないかとさえ思えてしまいます。3名の提出者の切なる思いを感じとっていただければ幸いです。



大原裕貴議員

山口みさえ議員

たかおか知子

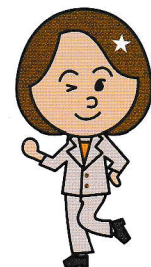
決議資料と動画



「第32号議案決議文」は右のQRコードからご覧いただけます。



「議会中継録画」は右のQRコードからご覧いただけます。



議会活動のブログ

「新人議員の本音」と、タイトルをつけてブログで議会の出来事を掲載しています。「みたよ!」ボタンがあるのでお気軽に押してくださいね。



地方自治体を代表する2人の市長から刺激をもらいました！

女性としても地方政治の担い手としても憧れる稲村和美・前尼崎市長

昨年、3期12年務めた尼崎市長を退任された稲村和美さんにお会いする機会がありました。私が初めて稲村さんとお会いしたのは、議員になる前そもそも議員を目指すことすら迷っていた時期です。そのころに目の前で稲村さんの演説を聞かせてもらい、「私もやってみよう！」と決意を固めることができました。無所属で女性というだけでも、かなりのご苦労が想像されます。しかし稲村さんの「ピンチをチャンスに」と励まれる姿勢や、“自治のまちづくり”を一貫して進められたその姿に、私は大きな底力を感じていました。

尼崎市長として積極的に参加された市民説明会やパブリックコメント等を経て、平成30年3月、「地域発意の取組が広がる環境づくり」「地域を支える新たな体制づくり」「地域とともにある職員づくり」を柱とする取組方針を策定されました。地域への向き合い方を大きく変えていこうとする稲村さんのその思いが、行政と市民との距離を縮めていかれました。市議になってからも稲村さんから市政について勉強する機会を何度かいただき、その度に励ましていただいたことは大きな支えになったと感じています。



2019年11月当時の稲村和美尼崎市長



2023年2月現在、稲村和美元尼崎市長

地方政治に革新を起こせることを教えてくれた泉房穂・明石市長

現在、3期目の明石市長を務めておられる泉房穂市長の街頭演説会に同行しました。また、ご自身の著作の出版記念トークイベントも拝聴し、泉市長が政治に真摯に向き合ってこられた政策理念を知り、大変勉強になりました。

私が最初に泉市長にお会いしたのは、2020年12月の「泉房穂明石市長講演会」に出席した時でした。明石市の様々な施策には、前々から関心を持っていましたが、泉市長に目の前でお話いただいたことによって理解が深まり、その実績に感銘を受けました。ちょうどこのころの私は、市議として大きな壁にぶつかり、「私と行政の考え方は根本的にかみ合わないのではないか。」と悩んでいました。そこで泉市長に「芦屋市という自治体について」質問をしたところ「明石だけができるわけではありません。どこでも当然できます。つまりその中でやるのが政治であってできない理由を探すんじゃなくて、どうすればできるのかを考えるのが政治と思うんですね。」とおっしゃってくれました。他市で実行し成果を上げている施策は積極的に取り入れていきたいと考えるようになったきっかけの一つです。

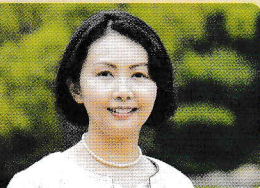


2023年1月、泉房穂明石市長の街頭演説会



2023年1月、泉房穂明石市長のトークイベント

子育て目線で
声を届ける



たかおか知子ホームページは
随時更新しています！

たかおか知子

検索



takaoka-tomoko.me

芦屋市議会議員 孝岡知子（たかおか ともこ）

事務所：芦屋市清水町

TEL：070-4332-6414

E-mail：mail@takaoka-tomoko.me

発行：あしやしみのこえ 発行年月日：2023年3月

SNSでも情報を発信しています！

